

令和8年1月教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和8年1月27日(火) 午後2時から

2 場 所 教育プラザ 大会議室

3 出席者

早川教育長 1番委員 大谷教育委員 2番委員 小林教育委員
4番委員 鈴木教育委員

(教育長及び委員以外の出席者)

中澤教育部長、五十嵐教育委員会事務局参事、笹川教育委員会事務局参事(教育総務課長)、小池教育総務課参事、岡教育総務課参事、大石統括栄養士長、市川地域クラブ活動推進室長、廣川学校教育課長、清水学校教育課参事、福山社会教育課長、宮崎社会教育課参事、加藤社会教育課参事、長谷川中央公民館長、新保文化行政課長、石田スポーツ推進課長、瀧口高田幼稚園長、熊木教育センター所長、田村高田城址公園オーレンプラザ館長、鋤柄高田図書館長、大瀧直江津学びの交流館長・直江津図書館長、石田青少年健全育成センター所長、花岡歴史博物館長、笹川小林古径記念美術館長
事務局 小酒井教育総務課副課長、小林教育総務課副課長、三輪教育総務課企画係長、横山教育総務課企画係主事

4 傍聴人 0人

5 会議に付議した事件

議案第1号 上越市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について
報告1 令和8年度上越市二十歳を祝うつどいの開催について
報告2 令和7年度地域青少年育成会議実践事例発表会及び意見交換会の開催結果について
報告3 令和7年度「1月12日・スキーの日」レルヒ少佐顕彰会の開催結果について

教育長開会宣言 午後2時

会議録署名委員の指名 小林委員

教 育 長	議案第1号において、上越市教育委員会会議規則第15条の規定により非公開としてよいか。 全委員同意
教 育 長	それでは議案に入る。 議案第1号 上越市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について、説明を求める。
学校教育課参事	(非公開)

教 育 長	議案について意見、質問を求める。 (意見、質問内容非公開)
教 育 長	それでは、議案第1号について、ご承認いただけるか。 原案どおり承認
教 育 長	続いて、報告に入る。 報告1 令和8年度上越市二十歳を祝うつどいの開催について、説明を求める。
社会教育課長	令和8年度上越市二十歳を祝うつどいの開催について報告する。 事業の目的および概要について、資料に記載のとおりである。開催時期については、例年どおり4月の第1土曜日に実施する予定としており、令和8年度は4月4日(土)に開催する。会場については、これまでと同様にリージョンプラザ上越インドアスタジアム、対象者については、平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた方で、市内に住民票のある方は1,490人、昨年度の実績として、市外申込みが約260人あり、これを踏まえ、令和8年度の対象者数は、1,750人を見込んでいる。式典の構成については、例年どおり2部制とし、第1部を式典、第2部を企画イベントとする予定で、内容や構成に大きな変更はない。また、式典の進行内容について、開式の言葉から始まり、来賓祝辞、代表スピーチまで、例年どおりの流れを想定している。現在、実行委員会において企画内容の検討を進めている段階であり、本日も実行委員会を開催する。今後、具体的な企画・運営について詰めていく予定としている。
教 育 長	報告について意見、質問を求める。
教 育 長	意見、質問なし
教 育 長	報告2から報告3まで、一括して説明を求める。
教育委員会事務局参事(教育総務課長)	報告2と3について、この間実施した行事・事業の開催結果の報告である。今回は、「令和7年度地域青少年育成会議実践事例発表及び意見交換会の開催結果について」、「令和7年度『1月12日・スキーの日』レルヒ少佐顕彰会の開催結果について」、お手元の資料のとおり報告とする。
教 育 長	報告について意見、質問を求める。
小林委員	報告2「令和7年度地域青少年育成会議実践事例発表及び意見交換会の開催結果について」について、配付資料から、実践事例発表および意見交換が充実した内容で実施されたことがうかがえる。 今年度は「広報」をテーマとして意見交換が行われたが、広報の在り方は、今後いずれの地域青少年育成会議においても共通する重要な課題であると認識している。 今回の意見交換会を通じて、今後の広報活動の方向性や、新たな取組につながる具体的なアイデア等が創出されたか。
社会教育課長	育成会議の周知が課題となっており、「どうすれば広報を見てもらえるか」が各団体共通の悩みとなっている。そのため今年は、広報を専門とする企業の方を講師に招き、手に取ってもらえる広報の工夫や見出しの作り方を学んだ。 学んだ内容をもとに各地区で取組を進め、最後に実践事例発表会を実施した。育成会議は、認知が十分でないため、後継者育成につなげる目的で広報誌の強化を進めている。参加者からは「参考になった」や「他団体の事例が勉強になった」などの意見が出て、今後の広報充実が期待される。また、年3回事

務局で発行している広報誌紙「つなぐ」は、文字中心から写真を多く使う構成に変更し、目に留まりやすい紙面づくりを進めている。

小林 委員

各地域青少年育成会において、画期的なアイデアがそれぞれ生まれたことが分かった。

これらの取組については、事務局等からフィードバックを行い、全体へ情報提供することで、他地区の活動にも生かせるよう配慮していただきたい。

閉会宣言

午後 2 時 31 分

令和 8 年 1 月 27 日

上越市教育委員会

教育長

早川 義裕

会議録署名委員

小林 晃彦